

【学校の教育目標】  
確かな学力を身につけ美しい心を持ち、活力ある子どもの育成

【本年度の重点目標】  
○自分の考えを適切に表現できる子どもを育成する。  
○自分から進んで誰にでも元気な挨拶ができる児童を育成する。  
○自分の目標実現に向けて、粘り強く取り組む児童を育成する。

4：大変よい    3：よい    2：努力を要する    1：すぐに改善

| 領域       | 項目       | 自己評価   | 学校関係者評価 | 学校関係者評価を踏まえた改善策   |   |
|----------|----------|--|---------|---|---|
| 自ら学ぶ子（知） | 基礎・基本の習得 | <p>【わかる授業づくり（個に応じた指導）】<br/>国語、算数の学期末テスト（市販）8.5点をとる。</p> <p>〈結果〉<br/>国語90.7点、算数89.5点と目標を達成している。<br/>各単元テスト結果、学期末テスト結果70点以下の児童に対しては、補充を行うなど学力の確実な定着を図る取組を行った。<br/>算数科学習において全学級複数体制で指導を行った。</p> | 3.3     | <p>(3.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 補充、再テストや分割授業など個別指導がされていて、細かい部分まで一人一人を大切に学習指導がされている。</li> <li>○ 総合的に見ると目標をクリアしている。先生方の努力のあとがよくわかる。すばらしい。校内研修のあり方に今ひとつ工夫がほしい。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末に習熟状況を把握し、未習得がある児童については個別指導を行い、習熟を図る取組を継続する。（再テストの実施等）</li> <li>○ 分割授業等を積極的に取り入れ、複数指導体制を工夫する。</li> <li>○ 人材を有効活用し、全学年、毎時間、複数教員での指導を継続して行う。</li> <li>○ 嘉麻市研究指定の2年目として、授業改善に向けた校内研修を進めて行く。</li> </ul> |
|          |          | <p>【自分の考えを適切に表現する】<br/>学習中や学活・集会活動等で、自分の考えを適切に発表している。</p> <p>〈結果〉<br/>全学年での「発表名人になろう」の取組により、系統的に発表の仕方を指導している。<br/>子どもたちは、81%が「よくできた」「できた」としている。</p>  | 2.8     | <p>(2.9)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「適切に表現する」というレベルの高い目標設定だなど思いました。今からの時代を担っていく子どもたち（世界で活躍する）には、必要な課題でもあると思います。</li> <li>○ 「適切に表現できるように」の掲示は良く、先生方の賞賛は大事です。発表の仕方や声の大きさ等具体的に指摘してもらえると子どもたちも喜ぶと思います。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発表する場を設定し、自信を持って自分の考えや思いを適切に伝えることができるように、日常的に指導し、励ましていく。</li> <li>○ 学級・学校便り等で発表名人を紹介し、賞賛していく。</li> </ul>   |
|          |          | <p>【読書活動の推進】<br/>低学年：80冊    中学年：3,000ページ<br/>高学年：5,000ページ</p> <p>〈結果〉<br/>毎月1回ボランティア等による読み聞かせを行った。「読書祭り」に各学級の読書の記録を掲示し、意欲付けをおこなった。学年ごとの平均は目標を達成しているが、個別に見てみると読書週間の二極化が見られる。</p>              | 2.8     | <p>(3.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学、高校、大学入試は、今後記述式が増えていく中で、読書によって思考力、創造力が養われていくので、読書活動を推進していただきたい。</li> <li>○ 全体的にはうまく取り組まれていると思われます。これからも継続した取組をお願いします。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館に足を運ぶ子が多くなるような取組・工夫をする。</li> <li>○ 読み聞かせを行うことで、低学年の頃から読書の楽しさに気づかせていく。</li> <li>○ 隙間読書の推進を図る。</li> <li>○ 読書の大切さについて、保護者への啓発を図る。</li> </ul>   |
|          |          | <p>【家庭学習の習慣化】<br/>（10分×学年+10分以上）の時間、家庭学習をしている。90%    土日の10分間読書の達成は78%だった。</p> <p>〈結果〉<br/>93%の児童が目標の時間、家庭学習に取り組んでいる。家庭学習の具体例を「家庭学習のてびきや「通信」等で紹介し、家庭学習の啓発を行った。</p>                            | 3.3     | <p>(3.7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習は、子どもの意識はもちろんですが、親の意識付けが、強く影響してくるように思います。</li> <li>○ 自主学習ノートの実践には感心しました。</li> <li>○ 様々な家庭がある中で、先生は、よく頑張っていると思います。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の習慣化が定着しない児童については、児童の実態や家庭の背景等の要因があるために、今後も家庭と連絡を密にとりながら、しないままにさせない（必ずする）指導・取組を行っていく。</li> <li>○ 家庭学習での10分間読書の推進を図る。</li> </ul>  |

|                  |          |   |     |  |   |
|------------------|----------|---|-----|--|---|
| 思いやりのある子<br>(徳)  | 豊かな心の育成  | <b>【良好な人間関係づくり(不登校防止)】</b><br>全児童が友だちと仲良くし、学校生活を楽しんでいる。 | 3.3 | (3.7)<br>○ 不登校の児童がいないことは、うれしいことです。努力に感謝します。<br>○ 2%の児童への丁寧な指導と、その年、その都度心配される児童への適切な指導をよろしくお願ひします。学校が楽しいと思っている児童が、98%という数字は素晴らしいと思います。  | ○ 不登校防止に向けて、早期発見・早期対応・個に応じた関わりを継続して行う。<br>○ 全職員で全児童を見ていくスタンスを継続し、多面的に子に寄り添うきめ細やかな指導を行う。   |
|                  |          | <b>【言語環境づくり】</b><br>丁寧な言葉遣い、やさしい言葉かけができる児童が育っている。       | 2.8 | (3.3)<br>○ 道徳の時間や日常の指導の充実をよろしくお願ひします。保護者の影響もありそうです。<br>○ 生徒指導上の問題が起きたら、その都度指導ができていられると思われます。   | ○ 良い人間関係を築くうえで、言葉はとて大切なことから、保護者とも連携しながら日常の指導を継続していく。<br>○ 集団での声かけを大切に、みんなが気持ちよく学校生活が送れるように指導していく。<br>○ 教師自ら、不用意な発言は厳に慎むようにし、言語環境を整える。                               |
| 最後までがんばる子<br>(体) | 学習の基盤づくり | <b>【基本的生活習慣の定着】</b><br>90%以上の児童が毎日「早寝・早起き・朝ご飯」ができていいる。  | 3.0 | (3.5)<br>○ これこそ、家庭との連絡調整が必要です。日頃から家庭との意思疎通をしておくで安心です。<br>○ 家庭との連携が取れて、指導が行き届いていると思われます。  | ○ 「食べてこない児童」「早寝・早起きができない児童」については、健康、食育、学習等の多方面から働きかけを行う。<br>○ ゲーム等で早寝ができていないと思われる児童もいることから、ゲームやスマホ、メディアとの付き合い方の学習を、今後も児童と保護者を対象に行っていく。                              |
|                  |          | <b>【体力の向上】</b><br>コーディネーショントレーニングを実施している。               | 3.3 | (3.6)<br>○ 全国平均を上回るとはすばらしい。<br>○ 昔のように外で遊ぶ子どもが少なくなって、家の中で遊ぶ子どもが増加する中で、12%は少ないほうでしょう。今後も子の取組を継続して、体力の向上に向けて取り組んでいただきたい。<br>○ バス通学の児童の体力低下を心配しています。外遊びをしていない児童に苦手なことを無理させることはないと思ひますが、授業でも外での活動をできる限り取り入れてもらいたい。 | ○ 嘉麻市社会体育「プロジェクトK」と連携した取り組みを、今後も体育の授業にも取り入れて活かしていく。<br>○ 体力アップシートのぬり忘れがないよう声かけをし、意欲を持たせる。<br>○ バス通学の児童と徒歩通学の児童に体力の差が見られないか、今後も注視し、子どもたちの状況に応じた取組を体育部を中心に行っていくようにする。 |
| けじめのある子<br>(律)   | 生徒指導の充実  | <b>【挨拶の励行】</b><br>90%以上の児童がすすんで挨拶をしている。                 | 2.7 | (3.4)<br>○ 教員の評価が低いのは、目指すところが高いという風に理解したいと思ひます。子どもたちは、しっかり挨拶ができていいると思ひます。学校も子どもたちに向けて意識付けができていいると思ひますが、自分から挨拶できない子どももいるので、今後も挨拶の大切さを伝えてください。<br>○ あいさつ運動は、今後も続けてほしい。通学路での挨拶は、地域の皆さんの元気のもとでもあります。               | ○ 日常的な指導を継続して行くとともに、挨拶の強化週間を設定して、学級活動等で一斉に「あいさつ」をテーマにした取り組みを行う。<br>○ 保護者や地域の方々から情報を集め、状況を把握し、指導に生かしていく。<br>○ PTA育成委員会をはじめ、保護者の理解と協力を得て、自分から誰にでも進んで挨拶ができるようにしていく。    |

|                    |                |  |     |   |   |
|--------------------|----------------|--|-----|---|---|
|                    |                | <p>【規範意識の育成】<br/>90%以上の児童がルールを守って、学校生活を送っている。</p> <p>〈結果〉<br/>いじめや暴力等のトラブルは生じていない。<br/>児童会が中心になり、廊下の歩行の仕方の点検を行った</p>   | 3.1 | <p>(3.4)</p> <p>○ 規範を守っている児童が多いと思います。しかし目立たないところで守れないこともあるので注視していただきたいです。</p> <p>○ 「きまり」を守ることは、民主主義の根本です。「自由」は「きまり」があって成り立つものだと思います。</p>                    | <p>○ 本校の「生活のきまり」について周知徹底を行うとともに、その指導を全職員で取り組む。</p> <p>○ 道徳科をはじめあらゆる教育活動の中で、規範意識を育成していく。</p> |
| ふるさとを大切に<br>する子(愛) | 保護者・地域との<br>連携 | <p>【地域の「ひと・もの・こと」の活用】<br/>全学年で、地域の「ひと・もの・こと」を取り入れた授業を行う。</p> <p>〈結果〉<br/>全学年が地域の「ひと・もの・こと」と取り入れた活動を実践することができた。</p>   | 3.3 | <p>(3.8)</p> <p>○ 地域の学習や体験、また、地域の人材を活かした学習がされ、素晴らしいと思います。</p> <p>○ 自分の生まれたふるさを勉強することで、大人になっても誇れると思います。</p> <p>○ 地域のプロの職人の方、GTを取り入れた授業がたくさんなされていると思いました。</p> | <p>○ 本年度の学習系統表をもとに、地域の特色をいかしたカリキュラムを作り、実践していく。</p>  |
| 総合<br>所見           |                | <p>本年度も、本校の教育に対して、温かい励ましの言葉をいただくことができた。全体的には、高評価をいただくことができたが、「適切に表現する児童を育成する」という重点目標に対しては、未来を生きる子どもたちに必要な力であり、子どもたちにわかるように具体的に指導してほしいというご指摘をいただいた。また、子どもたちの教室内、廊下、トイレ等落書きや破損したところが一つもないことも生徒指導が徹底している証との評価をいただくことができた。このような規範意識の醸成には、保護者や地域の皆様のご協力が欠かせない。その点でも、学校と保護者、地域との協力、連携があつてのことだと考えている。読書活動についてはさらに取組を進め、子どもたちの読書の推進について、教職員一丸となって取り組みを進めたい。学力向上に関しては、児童実態や学習内容にあつた指導が実践できるように複数指導体制を構築する。ご指摘いただいた点を踏まえ、来年度も保護者や地域から信頼される学校づくりを行っていく。</p> |     |   |   |